

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



山梨県立身延高等学校

教諭 渡邊 絢平

令和3年度採用

山梨県出身

◆学校の先生になった理由

私は、誰かの役に立てることに非常に大きな生きがいを感じます。そのこともあり、職業選択の際には、人生においてできるだけ多くの人の役に立つことと、人間の成長を近くで感じられることを重要視していたため、学校の先生になろうと決めました。また、学生時代は誰かに何かを教えることで、その人が喜んだり満足したりしている姿を見るのが好きだったことと、自分自身が英語を学ぶことが好きだったこともあり、高校の英語科の先生を目指そうと決めました。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

一番の魅力は、やはり子供たちの成長過程を毎日間近で感じることができる点にあると思います。高校時代は、人生の中でも精神的な自立に向かう非常に重要な時期です。その重要な意味を持つ3年間に毎日携わり、成長をサポートしていくことができる仕事は他にはないと思います。一人でも多くの子供たちが、先生のおかげで勉強が好きになった、前向きに生活することができるようになった、などとプラスの影響を受け、それを今後の人生の糧とすることができれば、教員にとってこの上ない喜びだと思います。しかし、教員は生徒に対して非常に大きな影響力を持つことも常に肝に銘じておき、生徒に不信感を与えたり信用を失ったりすることがないようにしたいです。

◆学校の先生として心がけていること

学校の先生として心がけていることは、「常に生徒に見られているという意識を持つようにする」ことです。学校の先生は、生徒にとって身近な大人であり、生徒に対して非常に大きな影響力を持っていると思います。学校の先生の普段の何気ない言動や振る舞いが生徒の人格形成に大きく影響し、その後の生徒の人間としての在り方や生き方にも大きな影響を与えることがあると思います。そのため、常に生徒に見られているという意識を持つことで、自分自身を律し、生徒に良い影響を与えられるような先生でありたいと考えています。

◆私が目指す学校の先生像

私は、既成概念に囚われることなく、自分自身の強みを最大限に生かした教育を実践することのできる先生を目指しています。なぜなら、多様な価値観や興味関心を持つ子供たちに学ぶことの面白さを肌で感じてもらい、教科の学びを超えて生涯自分なりに学び続けられるような子供たちを育てていきたいと考えているからです。このことを実現するためには、これまでの教育に関する考えや実践などを、自分なりに常によりよいものに変えていく必要があると思っています。その中で、自分自身の強みや個性を生かし、自分にしかできない教育の実現を目指していきたいです。



◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

自分自身のこれまでの教員歴は決して長くありませんが、今まで教員として過ごしてきた日々はどれ一つとして同じものはありませんでした。なぜなら、毎日生徒や先生方と様々な話をする中で、自分自身が様々な刺激を受け多くのことを学び成長し、さらには生徒の小さな変化や成長を発見することができたからです。授業においても、様々な授業方法を考え実践し改善する、これらのことを繰り返していると、決して昨日と同じ日を過ごしたと感じることはありません。教員は、毎日新しい刺激の中で、子供たちの成長に直接関わることのできる非常にやりがいのある仕事だと思います。時には苦しいこともあります、必ず乗り越え成長することができるので、教員を志す方はぜひ自分の信念に従ってこれからも頑張ってもらいたいと思います。

◆わたしの学校（職場）の雰囲気

私の学校には、多くの若手の先生方がいらっしゃいます。そのような環境なので、若手の先生を中心に業務を行っていくこともあります。しかし、業務を行っていく中で、先輩の先生方が親身になって相談に乗ってくださるので、日々大きなやりがいや達成感を感じながら過ごすことができます。また、子供たちと先生方の数が少ないこともあり、他クラスの子供たちはもちろんのこと、所属年次以外の子供たちの様子などを共有することができるので、全員の先生方が年次を超えてチームとして教育活動を行おうとする雰囲気が強いと感じます。

◆退勤後や休日の過ごし方

通勤に片道約1時間かかっているので、退勤後はあまり自分の時間はありませんが、夕飯を作ったり本を読んだり体のケアをしたりして、リフレッシュして過ごしています。たまにはゲームなどの娯楽に夢中になってしまうこともあります。休日は、友人と近況報告をし合ったり、趣味の時間に充てたりしています。自分の成長だけでなく、子供たちに元気な姿を見せることができるよう、自分の時間も大切にしています。

◆渡邊絢平先生の1日

内容	解説
出勤	5時に起床します。 学校に着いたら、一日の流れとやるべきことを確認します。 この時に、朝のSHRで連絡することなども確認します。
SHR	あいさつをしながら教室へ入ります。 教室へ入った時に生徒の様子も確認します。
授業	午前中は4コマのうち2コマ授業が入っていることが多いです。授業がない時間には、その日にやるべき業務や、今後の授業準備などを中心に行っています。特に、頭を使う業務や授業のアイデア出しを中心に行います。
昼休み 清掃	生徒は黙食で指定された席で前を向いてお昼を食べます。教員もお昼を食べますが、生徒対応が入ることが多いです。その後、生徒と共に分担箇所の清掃を行い、午後の授業に備えます。
授業	午後は2コマのうち2コマ授業が入っていることが多いです。午後は生徒も少し疲れている様子が見られることがあるので、なるべく音読活動ややりとりの活動を多く設けるようにしています。
放課後	放課後は、生徒の個別対応を行ったり、部活動の指導を行ったり、会議に参加したり、その日のうちにやらなければならない業務を行ったり、今後の授業準備を行ったり、と盛りだくさんです。やりがいを感じます
退勤	全ての業務と生徒の指導が終わると退勤です。 帰りはアパートまで約1時間かかるので、リフレッシュも兼ねて好きな音楽などを流しながら安全に帰ります。